

夏

の

目を覚ましたらそれっきり

寝食忘れる恋わずらい。



そして、

火の中にだって飛び込んでみせる
かわいい君のためなら。

の

夢

日時

2004年

3月 26日(金)・29日(月)・30日(火)・31日(水) 19:00開演

3月 27日(土)・28日(日) 13:00・17:00開演

※開場は各回開演時間の30分前です。

会場

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館スタジオB

※ご入場は無料ですが、整理券(全席自由)が必要です。

- 企画・製作／新潟市民芸術文化会館
- 後援／新潟市教育委員会、子ども劇場おやこ劇場新潟県センター
- 主催／財団法人 新潟市芸術文化振興財団

夏の夜の夢

あらすじ

舞台はアテネ近郊の夜の森。妖精の王と女王の夫妻は浮気だなんだと喧嘩の真っ最中。町の職人達は闇に紛れて4日後に控えた公爵の結婚式への奉納芝居の稽古。駆け落ちを決めた若い二人とそれを追いかける男女。そこに妖精パックのいたずらと勘違いで、夫婦喧嘩も稽古も4人の恋ももつれにもつれ…。さて4日後、みんなのもとに幸せな眠りは果たして訪れますでしょうか。そんなオトナの世界をAPRICOTが熱演します。



◆ご入場について

入場料／無料(全席自由)

公演は入場無料ですが、整理券(自由席)が必要です。事前に往復はがきに下記の事項をご記入の上、お申し込み下さい。

(往信)①入場希望者氏名(4名まで) ②住所 ③電話番号

④希望公演日・時間(第二希望まで)

(返信)郵便番号、住所、氏名

※往復はがきの返信裏面が整理券になりますので、お書き込みにならないようご注意ください。

※応募者多数の場合、第二希望回のご観賞、または抽選になる場合がございますので、ご了承下さい。

※未就学児の方のご入場はお断り致します。託児サービスがございますので、ご利用下さい。

(対象)6ヶ月以上の未就学児 託児料/1人800円)

往復はがきお申し込み締切り **3月5日(金)必着**

お問い合わせ・申込先／

〒951-8132 新潟県新潟市一番堀通町3-2

りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館 事業課

APRICOT「夏の夜の夢」係

TEL 025-224-7000

■日時

19:00開演

3月26日(金)・29日(月)・30日(火)・31日(水)

13:00・17:00開演

3月27日(土)・28日(日)

〈全8回公演〉

※開場は各回開演時間の30分前です。

キャスト

荒木 麗
石田 有希子
磯野 知世
市原 沙也香
岩橋 奈々
大竹 雅
大山 真絵子
岡 優里
刈屋 巴花
古俣 絵美莉
斎藤 萌子
斎藤 香理
佐藤 沙由美
高橋 住田
滝沢 亜希奈
塚野 綾音
塚野 星美
塚野 夢美

土田 ひろ子
土田 光季
中島 もも
西方 花子
浜田 杏梨
藤田 ゆかり
藤巻 真由美
藤山 美玖
真嶋 望
町屋 美咲
水落 茜
宮本 洋子
山崎 智美
山崎 友佳
山本 薫
渡辺 瞭
渡辺 智

スタッフ

脚本・演出 笹部 博司
演出助手 戸中井 三太
作曲 野瀬 珠美
作 曲 付 内堀 照子、川谷 麻理子
振 導 風間 左智
歌唱指導 川井 紀子
衣装 裳 川井 紀子
音響・照明・舞台 ありとぴあ舞台技術係スタッフ
広 報 古俣 絵美莉、石田 有希子
(APRICOT) 市原 沙也香、岡 優里、
佐藤 沙由美、宮本 洋子
制 作 丹呉 泰子、森田 雅子

■会館のご案内



- 新潟駅より車で7分
- 関越自動車道／磐越自動車道：新潟中央ICより車で18分
- 新潟駅方代口より「昭和大桥経由入船町」行で「白山公園前」バス停下車 徒歩2分、「新潟県庁」行で「陸上競技場前」バス停下車 徒歩5分、「信濃町」行で「市役所前」バス停下車徒歩7分
- 新潟空港より車で27分

■白山公園駐車場のご案内



- 駐車場A、B、C、D合わせて約600台
- 身障者用駐車スペースを用意しております。
- りゅーとぴあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。



新潟市民芸術文化会館

〒951-8132 新潟市一番堀通町3番地2(白山公園内) TEL.025-224-7000

<http://www.ryutopia.or.jp>

●駐車場料金のお支払いは、プリペイドカードがたいへん便利でお得です。2,000円のカードで3,000円分駐車場をご利用いただけます。りゅーとぴあ1Fの自動販売機で買い求めください。

APRICOTについて

平成13年度からスタートした「APRICOT」は、小学校4年生からの高校生までを対象に演劇を通して豊かな感性と表現力を育んでいくことを目的に開催しています。日常的に演技、ダンス、歌のレッスンを重ね、年2回作品発表をしています。また、グループの運営をできるだけメンバーの自主性に委ね子供たちの運営力を養いながら自立したグループ化を図るとともに、学校、学年をこえた演劇創作をしています。